当ファンドの仕組みは、次の通りです。

377710	仕組みは、火0	7 通りです。
商品分類	追加型投信/海	外/株式/インデックス型
信託期間	無期限(設定日	: 2023年8月23日)
運用方針	インデックス・ 投資を通じて、 証券)に投資し 場する、時価総 の時価総額加』 NASDAQ100イン	スコQQQ・NASDAQ100 マザーファンド受益証券への 主としてETF(上場投資信託 、米国のナスダック市場に上 額上位100銘柄(除く金融業) 重平均によって算出される シデックス(配当込み、円換算 きに連動する投資成果をめざ ます。
		SBI・インベスコQQQ・
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	NASDAQ100インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF(上場投資信託証券)を 主要投資対象とします。
組入制限	マザーファンド	投資信託証券(マザリック で受益証券およす。)を を除きます。)を を除きます。)を を除きます。)を を発額の5%以下と益配を を対資割合は、信託財を で投資制で、 を対で資割で、 を対で資割で、 を対した。 外貨建資産への実は、 大変信託証券(上場投資は行いません。 投資信託証券(上場投資を には制度を を設すで、 投資信託証券を には、 投資信託証券を にに、 を を を を を を を を を を を を を
分配 方針	年合の配後にると価た配等し行かの配後にると価た配等し行かの属とい益額金を、わっては、一点のでは	月22日。ただし、休業日の場 決算を行い、原則とします。 決算を行い、原則としま費を行い、原則としませい。 に収益の分配を対した経費財産が、 は、繰ザーファンドの居産を収益では、 は、以下「みなしまび売買は、は、 は、以下、「みなしまび売買、 は、以下す。)およを控除、収益のます。 は、以下す。)お益を控除、収動を は、は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は



運用報告書(全体版)

第2期

(決算日:2025年8月22日)

SBI・インベスコQQQ・ NASDAQ100インデックス・ファンド (愛称: 雪だるま(QQQ・NASDAQ100))

追加型投信/海外/株式/インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、「SBI・インベスコQQQ・NASDAQ 100インデックス・ファンド(愛称:雪だるま (QQQ・NASDAQ100))」は、2025年 8月22日に第2期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願 い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1 お問い合わせ先 電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、 レポート等をご覧いただけます。 https://www.sbiam.co.jp/

〇設定以来の運用実績

	基	準 価 着	額	ベンチ	マーク	机次层式钉头	純資産
決算期	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率			投資信託証券組入比率	総額
(設 定 日)	円	円	%		%	%	百万円
2023年8月23日	10,000	_	_	10,000		_	300
1期(2024年8月22日)	13, 143	0	31. 4	13, 246	32.5	98. 7	4, 316
2期(2025年8月22日)	15, 715	0	19. 6	15, 913	20. 1	99. 1	7, 445

- (注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
- (注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
- (注4) ベンチマークはNASDAQ100インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。
- (注5) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注6) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額	ベンチ		投資信託証券
		騰落率		騰落率	組入比率
(期 首)	円	%		%	%
2024年8月22日	13, 143	_	13, 246	_	98. 7
8月末	12, 770	△ 2.8	12, 859	△ 2.9	98. 7
9月末	13, 030	△ 0.9	13, 134	△ 0.8	98. 7
10月末	14, 291	8. 7	14, 410	8.8	98. 0
11月末	14, 272	8.6	14, 398	8. 7	98.8
12月末	15, 496	17. 9	15, 650	18. 1	99. 0
2025年1月末	15, 144	15. 2	15, 308	15. 6	98. 2
2月末	14, 056	6. 9	14, 186	7. 1	98.8
3月末	13, 187	0.3	13, 309	0.5	98. 7
4月末	12, 757	△ 2.9	12, 868	△ 2.9	99. 0
5月末	14, 056	6. 9	14, 205	7. 2	98.8
6月末	14, 915	13. 5	15, 093	13. 9	98. 9
7月末	15, 933	21. 2	16, 135	21.8	98. 7
(期 末)					
2025年8月22日	15, 715	19. 6	15, 913	20. 1	99. 1

- (注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
- (注2) ベンチマークはNASDAQ100インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。
- (注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注4) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク:NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)

NASDAQ100インデックスとは、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄(除く金融業)の時価総額加重平均によって算出される株価指数です。

なお、NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)は、NASDAQ100インデックス(配当込み)をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針(2024年8月23日から2025年8月22日まで)

○基準価額等の推移



期 首:13,143円

期 末:15,715円 (既払分配金(税込み):0円)

騰落率: 19.6%

(注1) ベンチマークは、NASDAQ100インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首(2024年8月22日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の利下げ期待
- ・米景気の軟着陸期待
- ・米国による関税政策に対する交渉の進展
- ・円安・ドル高傾向となったこと
- ・好調な企業決算

下落要因

- ・米景気後退懸念の高まり
- ・FRBの金融引締め長期化観測
- 労働市場の悪化
- ・米国による関税政策による景気の不透明感の高まり

〇投資環境

<米国株式市場>

当期、米国株式市場は上昇しました。期初からはインフレ鎮静化や底堅い景気指標、企業の好調な決算発表を受けて市場は堅調に推移しましたが、2024年8月ISM製造業景況感指数の不振を機に急落しました。その後、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で50bpの利下げが決定され、米景気のソフトランディング期待が高まったことや米大統領選でトランプ氏が選出され、新政権による減税、規制緩和が景気を支えるとの期待を受けて上昇しました。12月FOMCでは、利下げが決定されたものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、下落しました。2025年1月は、コアCPI(消費者物価指数)の伸び鈍化や、米大統領就任初日の関税引き上げ見送りもあり、上昇基調でしたが、2月に入りトランプ政権による関税政策や、米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことで下落しました。3月に入ると、比較的堅調な雇用統計から上昇する場面もありましたが、米自動車関税導入表明や弱い個人消費、さらに4月2日に発表された相互関税により、景気悪化懸念が強まり急落しました。その後、中国を除く、関税上乗せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小したものの、米大統領がFRB議長解任を示唆し、下落しました。4月下旬からは対中姿勢の緩和など市場に配慮した言動が相次いだことで急回復し、5月12日に米中が互いに課した関税率の想定以上の引き下げに合意すると騰勢を強めました。期末にかけては、AI半導体の需要が引き続き旺盛であることが確認されたことや、好調な企業決算、9月の利下げ観測の高まりが追い風となり、上昇基調で推移しました。

<外国為替市場>

期初1ドル144円台で始まりました。期初から予想より弱い米指標が発表されたことを受け、米国の景気後退懸念が強まり円高ドル安が進行し、一時1ドル140円を切る局面もありました。2024年10月から11月にかけては、堅調な米雇用統計で景気後退懸念が後退したことや、大統領選挙でトランプ氏が勝利する観測が強まり、円安ドル高傾向となりました。その後FRBの利下げ観測もあり、一時円高ドル安になる局面もありましたが、12月FOMCではFRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、再び円安ドル高となりました。しかし国内では2025年1月の日銀会合において利上げが決定されたことや、今後も利上げが予想され国内金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、2025年に入り円高ドル安傾向に転換しました。トランプ米大統領による関税政策が順次発表されると景気後退懸念が高まり、さらに4月2日に相互関税が発表されると円高ドル安が加速しました。相互関税の延期や米英との関税合意、中国に対する関税引き下げが発表されると、円安ドル高になる局面もありましたが、5月下旬に米国がEUからの輸入品に50%の関税を課す意向を示すと、再び円高ドル安となりました。その後1ドル140円台前半で推移した後、7月の初めに堅調な米雇用統計が発表され、利下げ観測が後退したことや、米国と日本を含めた各国との関税交渉の合意がなされたことで、円安ドル高に転じ、1ドル150円を超える場面もありました。期末にかけては7月の米雇用統計が予想を大きく下回ったことで、9月FOMCでの利下げ観測が高まり円高ドル安となり、1ドル140円台後半で推移しました。

〇当ファンドのポートフォリオ

く当ファンドン

主要投資対象であるSBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド>

NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、インベスコ キャピタル マネジメント LLCが運用を行う「インベスコ NASDAQ 100 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

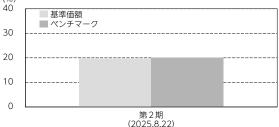
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.1%となっております。

〇当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+19.6%となり、ベンチマークである「NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)」の騰落率である+20.1%を概ね0.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー(パフォーマンスの乖離)、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比 (期別騰落率)



(注) ベンチマークはNASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)です。詳細はP1をご参照ください。

〇分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

		第2期
項	目	2024年8月23日~
		2025年8月22日
当期分配金		_
(対基準価額比率)		-%
当期の収益		_
当期の収益以外		_
翌期繰越分配対象額		5, 715

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

〇今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄(除く金融業)の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

<SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド>

主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄(除く金融業)の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

-FF	当	期	
項目	金額	比 率	項目の概要
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	9	0.064	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(3)	(0.024)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(3)	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、
			購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	_	_	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
			※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に
			支払う手数料
(c) 有価証券取引税	_	_	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税:期中の平均受益権口数
			※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に
			関する税金
(d) その他費用	6	0.044	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管
			及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.016)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	15	0. 108	
期中の平均基準価額	質は、14,158	円です。	

⁽注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

⁽注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

⁽注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

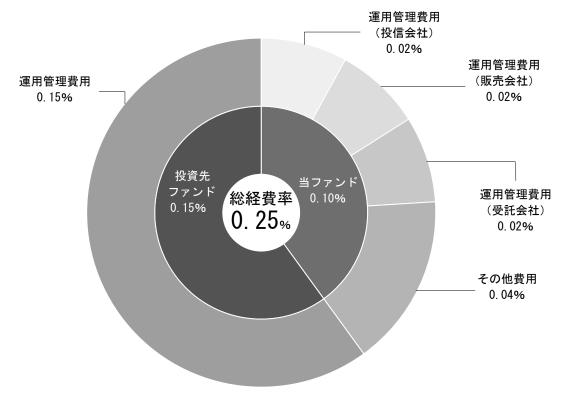
⁽注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対 応するものを含みます。

⁽注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

〇総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は0.25%です。**



総経費率 (①+②)	0. 25%
①当ファンドの費用の比率	0.10%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
- (注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7)投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設	定	角军	約
型位 173	口数	金 額	口数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド	2, 606, 919	3, 758, 260	1, 159, 405	1, 675, 100

⁽注) 単位未満は切捨て。

〇利害関係人との取引状況等

(2024年8月23日~2025年8月22日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当	,末
如 仰	口 数	口数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド	3, 282, 005	4, 729, 519	7, 447, 574

⁽注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

項目			当	期	末		
		評	価 額		比	率	
			Ŧ	-円			%
SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100	インデックス・マザーファンド		7, 447,	574			99.7
コール・ローン	等、その他		22,	456			0.3
投 資 信 託 財	産 総 額		7, 470,	030			100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,353,648千円)の投資信託財産総額(7,527,070千円)に対する比率は97.7%です。
- (注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、8月22日における円換算レートは、1ドル=148.53円です。

〇特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月22日現在)

項目	当 期 末
(A)資 産	7, 470, 030, 351円
コール・ローン等	25, 866
SBI・インバスコQQQ・NASDAQ100インデックス・ マザーファンド(評価額)	7, 447, 574, 485
未 収 入 金	22, 430, 000
(B)負 債	24, 992, 922
未 払 解 約 金	22, 417, 108
未 払 信 託 報 酬	1, 930, 114
その他未払費用	645, 700
(C)純 資 産 総 額(A-B)	7, 445, 037, 429
元 本	4, 737, 484, 039
次 期 繰 越 損 益 金	2, 707, 553, 390
(D)受 益 権 総 口 数	4, 737, 484, 039□
1万口当たり基準価額(C/D)	15,715円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額 3, 284, 331, 614円 2, 613, 673, 268円 1, 160, 520, 843円 〇損益の状況 (20)

(2024年8月23日~2025年8月22日)

項	目		当	期
(A)有 価 証	券 売 買	損 益	932	, 113, 795円
売	買	益	1,087	, 883, 473
売	買	損	△ 155	, 769, 678
(B)信 託	報 酉	等	Δ 5	, 128, 197
(C)当期損	益金(A	+ B)	926	, 985, 598
(D)前 期 総	製 越 損	益 金	298	, 308, 470
(E)追 加 信	託 差 損	益 金	1, 482	, 259, 322
(配当	等 相 当	á額)	(284	, 665, 116)
(売買	損 益 相	当額)	(1, 197	, 594, 206)
(F) 計	(c + c) + E)	2, 707	, 553, 390
(G)収 益	分 酉	金 5		0
次 期 繰 越	損益金(F	+ G)	2, 707	, 553, 390
追加信	言託 差 損	益金	1,482	, 259, 322
(配当	等 相 当	á額)	(286	, 264, 145)
(売買	損 益 相	当額)	(1, 195	, 995, 177)
分 配	準 備 積	立 金	1, 225	, 294, 068

- (注1) 損益の状況の中で(A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費 税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の 追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差 額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(29,311,892円)、 費用控除後の有価証券等損益額(897,673,706円)、信託約款 に規定する収益調整金(1,482,259,322円)および分配準備 積立金(298,308,470円)より分配対象収益は2,707,553,390円 (10,000口当たり5,715円)ですが、当期に分配した金額は ありません。

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更適用日:2025年4月1日)

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

NASDAQ100指数(配当込み、円換算ベース)は、Nasdaq-100 Indexをもとに、委託会社が計算したものです。 本ファンドは、Nasdag, Inc. またはその関連会社 (Nasdag, Inc.、その関連会社と共に「Nasdag社」と総称します。) によって、支援、承認、販売または促進されるものではありません。Nasdaq社は、本ファンドに関する記述およ び開示の合法性、適合性、正確性または妥当性を保証するものではありません。Nasdao社は、本ファンドの投資 者または公衆一般に対して、本ファンドへの投資の推奨およびNasdag-100 Indexの一般的な株式市場への追随可能 性に関して、明示的または黙示的を問わず、表明または保証も行いません。SBIアセットマネジメント株式会社と Nasdaq社の関係は、Nasdaq®、Nasdaq-100 Index®およびQQQの商標登録およびNasdaq社の一定の商号の使用を許 諾すること、ならびにSBIアセットマネジメント株式会社または本ファンドとは無関係にNasdag社が決定、構築お よび算出を行うNasdag-100 Indexの使用の許諾に限られます。Nasdag社は、Nasdag-100 Indexの決定、構築および 計算を行う際に、SBIアセットマネジメント株式会社および本ファンドの投資者の要望を考慮するものではありま せん。Nasdaq社は、本ファンドの発行タイミング、価格、数量、および本ファンドの換金に関する計算方法につ いて責任を負わず、また関与しません。Nasdaq社は、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引について責 任を負いません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータの正確性および中断のない計算を保証するもの ではありません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Indexに含まれるデータを利用して、SBIアセットマネジメント株式会 社、本ファンドの投資者およびその他のいかなる個人および団体に生じた結果に関して、明示的または黙示的を 問わず、保証を行いません。Nasdaq社は、明示的または黙示的を問わず保証を行わず、かつ、Nasdaq-100 Index またはその中に含まれるデータの使用に関する特定の目的に対する商品性または適合性について、明示的な全て の保証を否認します。先述の内容に限らず、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的もしく は間接的な損害について、当該損失の可能性について通知されたとしても、一切の責任を負いません。

第2期 運用報告書

(決算日 2025年8月22日)

SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・マザーファンドの第2期 (2024年8月23日から2025年8月22日まで) の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運	用	方	針	NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
主	要 投	資 対	象	ETF(上場投資信託証券)を主要投資対象とします。
組	入	制	限	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託 財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

〇設定以来の運用実績

	基 準	価 額	ベンチ	マーク	投資信託証券	純資産
決算期	(分配落)	期 中 騰落率		期 中 騰落率	組入比率	総額
(設 定 日)	円	%		%	%	百万円
2023年8月23日	10,000		10,000			300
1期(2024年8月22日)	13, 158	31. 6	13, 246	32. 5	98. 6	4, 318
2期(2025年8月22日)	15, 747	19. 7	15, 913	20. 1	99. 1	7, 447

- (注1) 設定目の基準価額は、設定時の価額です。
- (注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
- (注3) ベンチマークは、NASDAQ100インデックス (配当込み) を委託会社にて円換算しています。
- (注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価 額	ベンチ		投資信託証券
一		騰落率		騰落率	組入比率
(期 首)	円	%		%	%
2024年8月22日	13, 158	_	13, 246	_	98. 6
8月末	12, 785	△ 2.8	12, 859	△ 2.9	98. 7
9月末	13, 047	△ 0.8	13, 134	△ 0.8	98. 7
10月末	14, 310	8.8	14, 410	8.8	98. 0
11月末	14, 293	8.6	14, 398	8. 7	98. 7
12月末	15, 519	17. 9	15, 650	18. 1	99. 0
2025年1月末	15, 168	15. 3	15, 308	15. 6	98. 2
2月末	14, 079	7. 0	14, 186	7. 1	98.8
3月末	13, 210	0.4	13, 309	0.5	98. 7
4月末	12, 780	△ 2.9	12, 868	△ 2.9	99. 0
5月末	14, 082	7. 0	14, 205	7. 2	98.8
6月末	14, 944	13. 6	15, 093	13. 9	98. 9
7月末	15, 964	21. 3	16, 135	21.8	98. 7
(期 末)					
2025年8月22日	15, 747	19. 7	15, 913	20. 1	99. 1

- (注1)騰落率は期首比です。
- (注2) ベンチマークは、NASDAQ100インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。
- (注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク:NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)

NASDAQ100インデックスとは、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄(除く金融業)の時価総額加重平均によって算出される株価指数です。

なお、NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)は、NASDAQ100インデックス(配当込み)をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針(2024年8月23日から2025年8月22日まで)

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首13,158円から始まったあと、期末には15,747円となりました。期を通じて騰落率は+19.7%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/8/22	2025/8/13	2025/4/9	2025/8/22
基準価額 (円)	13, 158	16, 132	11, 426	15, 747

〇投資環境

<米国株式市場>

当期、米国株式市場は上昇しました。期初からはインフレ鎮静化や底堅い景気指標、企業の好調な決算発表を受けて市場は堅調に推移しましたが、2024年8月ISM製造業景況感指数の不振を機に急落しました。その後、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で50bpの利下げが決定され、米景気のソフトランディング期待が高まったことや米大統領選でトランプ氏が選出され、新政権による減税、規制緩和が景気を支えるとの期待を受けて上昇しました。12月FOMCでは、利下げが決定されたものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、下落しました。2025年1月は、コアCPI(消費者物価指数)の伸び鈍化や、米大統領就任初日の関税引き上げ見送りもあり、上昇基調でしたが、2月に入りトランプ政権による関税政策や、米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことで下落しました。3月に入ると、比較的堅調な雇用統計から上昇する場面もありましたが、米自動車関税導入表明や弱い個人消費、さらに4月2日に発表された相互関税により、景気悪化懸念が強まり急落しました。その後、中国を除く、関税上乗せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小したものの、米大統領がFRB議長解任を示唆し、下落しました。4月下旬からは対中姿勢の緩和など市場に配慮した言動が相次いだことで急回復し、5月12日に米中が互いに課した関税率の想定以上の引き下げに合意すると騰勢を強めました。期末にかけては、AI半導体の需要が引き続き旺盛であることが確認されたことや、好調な企業決算、9月の利下げ観測の高まりが追い風となり、上昇基調で推移しました。

<外国為替市場>

期初1ドル144円台で始まりました。期初から予想より弱い米指標が発表されたことを受け、米国の景気後退懸念が強まり円高ドル安が進行し、一時1ドル140円を切る局面もありました。2024年10月から11月にかけては、堅調な米雇用統計で景気後退懸念が後退したことや、大統領選挙でトランプ氏が勝利する観測が強まり、円安ドル高傾向となりました。その後FRBの利下げ観測もあり、一時円高ドル安になる局面もありましたが、12月FOMCではFRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、再び円安ドル高となりました。しかし国内では2025年1月の日銀会合において利上げが決定されたことや、今後も利上げが予想され国内金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、2025年に入り円高ドル安傾向に転換しました。トランプ米大統領による関税政策が順次発表されると景気後退懸念が高まり、さらに4月2日に相互関税が発表されると円高ドル安が加速しました。相互関税の延期や米英との関税合意、中国に対する関税引き下げが発表されると、円安ドル高になる局面もありましたが、5月下旬に米国がEUからの輸入品に50%の関税を課す意向を示すと、再び円高ドル安となりました。その後1ドル140円台前半で推移した後、7月の初めに堅調な米雇用統計が発表され、利下げ観測が後退したことや、米国と日本を含めた各国との関税交渉の合意がなされたことで、円安ドル高に転じ、1ドル150円を超える場面もありました。期末にかけては7月の米雇用統計が予想を大きく下回ったことで、9月FOMCでの利下げ観測が高まり円高ドル安となり、1ドル140円台後半で推移しました。

〇当ファンドのポートフォリオ

NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、インベスコ キャピタル マネジメント LLCが運用を行う「インベスコ NASDAQ 100 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は 99.1%となっております。

〇当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+19.7%となり、ベンチマークである「NASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)」の騰落率である+20.1%を概ね0.4%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー(パフォーマンスの乖離)、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

〇今後の運用方針

主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国のナスダック市場に上場する、時価総額上位100銘柄(除く金融業)の時価総額加重平均によって算出されるNASDAQ100インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

TH.			当	期		在日の柳 田
項	目	金	額	比	率	項目の概要
			円		%	
(a) 売買委	5託手数料		_		_	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
						※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に
						支払う手数料
(b) 有価証	E券取引税				_	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税: 期中の平均受益権口数
						※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に
						関する税金
(c) そ の	他費用		2	0.	016	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 智	賣 費 用)	(2)	(0.	016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管
						及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合	計	·	2	0.	016	
期中の平	Z均基準価額	頁は、1	14, 181	円です	- 0	

⁽注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果 です。 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

〇売買及び取引の状況

(2024年8月23日~2025年8月22日)

投資信託証券

	銘 柄 -		付	売	付
	亚 白 11/1	口数	金 額	口数	金 額
Al	アメリカ	П	千ドル	П	千ドル
外国	INVESCO NASDAQ 100 ETF	72, 417	15, 193	5, 641	1, 175
	小	72, 417	15, 193	5, 641	1, 175

⁽注) 単位未満は切捨て。

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月22日現在)

外国投資信託証券

				当	朝末	
銘	柄 名	口数	口数	評 何	面 額	比率
		口数	口数	外貨建金額	円換算金額	比 率
(アメリカ)		П	П	千ドル	千円	%
INVESCO NA	SDAQ 100 ETF	147, 472	214, 248	49, 688	7, 380, 217	99. 1
合 計	口数・金額	147, 472	214, 248	49, 688	7, 380, 217	99. 1
一 訂	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	_	<99.1%>	

- (注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
- (注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
- (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

〇投資信託財産の構成

(2025年8月22日現在)

		項			н			当	期	末		
		垻			目			評価額	J	比	率	
								千円				%
投	資	信	託	受	益	証	券	7, 380, 217				98.0
コ	ール	• 1	<u> </u>	ン き		その	他	146, 853				2.0
投	資	信	託	財	産	総	額	7, 527, 070				100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 当期末における外貨建て純資産(7,353,648千円)の投資信託財産総額(7,527,070千円)に対する比率は97.7%です。
- (注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、8月22日における円換算レートは、1ドル=148.53円です。

〇特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月22日現在)

	項	目		当 期 末
(A)資			産	7, 562, 408, 968円
コ	ール	• п –	ン等	138, 286, 293
投	資信託受	益証券(評	呼価額)	7, 380, 217, 481
未	収	入	金	35, 338, 382
未	収	配当	金	8, 565, 696
未	収	利	息	1, 116
(B)負			債	114, 789, 610
未		払	金	92, 359, 610
未	払	解約	金	22, 430, 000
(C)純	資 産	総 額(A	(-B)	7, 447, 619, 358
元			本	4, 729, 519, 582
次	期 繰	越損	益 金	2, 718, 099, 776
(D)受	益 権	総「	コ 数	4, 729, 519, 582□
1万	コ当たり碁	基準価額(C	/D)	15, 747円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額 3, 282, 005, 990円 2, 606, 919, 549円

1, 159, 405, 957円

期末における元本の内訳

SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・ファンド 4,729,519,582円 〇損益の状況

(2024年8月23日~2025年8月22日)

	項		目		当	期
(A)配	当	等	収	益	2	29, 446, 806円
受	取	配	当	金	2	29, 073, 767
受	取		利	息		373, 039
(B)有 個	5 証 参	\$ 売	買損	益	1, 01	7, 430, 057
売		買		益	1,01	9, 186, 240
売		買		損	\triangle	1, 756, 183
(C) そ	の	他	費	用	Δ	909, 487
(D) 当期	損 益 金	(A -	+ B +	C)	1, 04	15, 967, 376
(E)前 其	胡繰	越	損 益	金	1, 03	86, 485, 992
(F)追 加	」信 :	モ 差	損 益	金	1, 15	51, 340, 451
(G)解	約 差	損	益	金	△ 51	5, 694, 043
(H)	i † (D + E	+ F +	G)	2, 71	8, 099, 776
次 期	繰 越	損 益	金(ト	-)	2, 71	8, 099, 776

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の 追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差 額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
インベスコ NASDAQ 100 ETF	米国株式	NASDAQ100インデックス	0. 15%	インベスコ キャピタル マネジメント LLC

組入上位10銘柄	比率
Nvidia	9. 2%
Microsoft	8.8%
Apple	7. 3%
Amazon	5.5%
Broadcom	5.1%
Meta Platforms 'A'	3.8%
Netflix	3.3%
Tesla	2.8%
Costco Wholesale	2.6%
Alphabet 'A'	2.4%

組入上位10業種	比率
テクノロジー	60.8%
一般消費財・サービス	19.4%
ヘルスケア	4.8%
資本財・サービス	4.4%
電気通信サービス	4.3%
生活必需品	2.6%
素材	1.6%
公益事業	1.4%
エネルギー	0.5%
不動産	0.2%

出所:インベスコ キャピタル マネジメント LLCの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2025年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第2期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。